

**製品名: HP1 ガンママウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM85033**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.5% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 21 kDa; Observed MW: 24 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	HP1 gamma
別名	CBX3; Chromobox protein homolog 3; HECH; Heterochromatin protein 1 homolog gamma; HP1 gamma; Modifier 2 protein
遺伝子 ID	11335.0
SwissProt ID	Q13185
免疫原	大腸菌で発現した精製組み換えタンパク質。

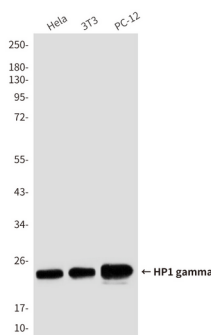
**背景**

ヒストン H3 末端の Lys-9 メチル化を認識し結合し、エピジェネティック抑制を引き起こす。ラミン B 受容体 (LBR) との相互作用を介してヘテロクロマチンと核内膜の結合に寄与する可能性がある。MIS12 複合体タンパク質との相互作用を介して機能的なキネトコアの形成に関与する。

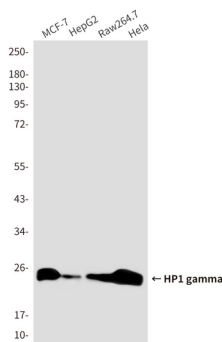
## 研究分野

-

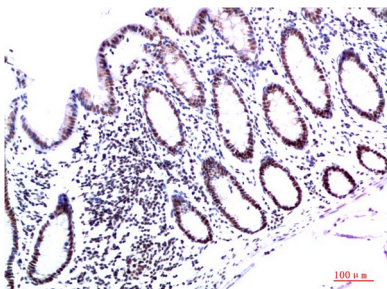
## 画像データ



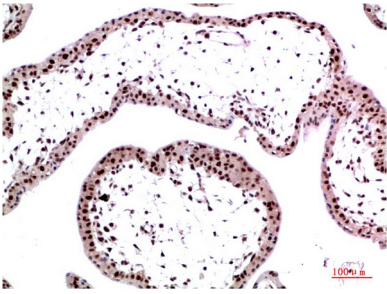
HP1 ガンマ抗体を用いた HeLa ライセート、3T3 ライセート、PC-12 ライセート中の HP1 ガンマのウェスタンブロット解析



HP1 ガンマ抗体を使用した、MCF-7、HepG2、Raw264.7、HeLa 溶解物中の HP1 ガンマのウェスタンブロット分析。



HP1 ガンマ抗体を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



HP1 ガンマ抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。